

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S17	施策名	協働事業の拡大（地域組織への委託、事業主体の確認、市民、市行政、大学、民間の連携拡大）	
担当部課	地域共生推進課、観光商工課	関係部課		

第6次総合計画・基本目標	1 「やってみたい」でつながるまち	
行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大	
法定受託事務の有無	無	
その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市地域協働計画、長久手市大学連携推進ビジョン4U、リノテラス公益施設(仮称)整備基本計画
施策開始の背景、経緯等	市民主体のまちづくりの実現に向けて、市民との協働を進めている	

施策の内容	(どのような施策なのか) (1)地域組織への委託、事業主体の確認 (2)市民、市行政、大学、民間の連携拡大			
施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民全般			
施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民がまちづくりに関わることで、自ら地域の課題に目を向け、自分たちで地域の課題解決を図ることを目指す			

施策に係る取組①		地域組織への委託、事業主体の確認【地域共生推進課】							
R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		R8年度 (2026)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
協働まちづくり活動補助金を活用した、市と市民団体の協働事業の拡大		みんなでつくるまち活動補助金を活用した、市民活動活性化の支援		みんなでつくるまち活動補助金を活用した、市民活動活性化の支援		みんなでつくるまち活動補助金を活用した、市民活動活性化の支援		みんなでつくるまち活動補助金を活用した、市民活動活性化の支援	
費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
協働補助金及びNPO補助金	499千円	市民活動支援補助金	2,000千円	市民活動支援補助金	2,000千円	市民活動支援補助金	2,000千円	市民活動支援補助金	2,000千円
市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人

施策に係る取組②		市民活動の活性化による賑わい及び交流拠点の形成【観光商工課】							
R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		R8年度 (2026)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
リノテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理		リノテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理		リノテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理		リノテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理		リノテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理	
費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
リノテラス指定管理料	39,000千円	リノテラス指定管理料	39,000千円	リノテラス指定管理料	39,000千円	リノテラス指定管理料	39,000千円	リノテラス指定管理料	39,000千円
市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
(延べ)	1909 人	(延べ)	2139 人	(延べ)	2369 人	(延べ)	2599 人	(延べ)	2829 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
		(1)補助採択団体の内、いくつかの団体は、まちづくり協議会と連携することで、地域で既に活動している団体を巻き込み、事業を実施することができた。 (2)令和6年度より、リノテラス公益施設及び長久手中央2号公園を一体的に指定管理を行う運営スキームとし、様々な活動プレイヤーを取り込む動きをとっている。指定管理者がコーディネーターとして施設活用のアドバイス、他団体とのマッチング、広報連携など市民のやってみたいを実現させるためのサポートをしている。

改善状況	改善ポイント	<p>(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど)</p> <p>(1)令和5年度末に要綱を改正し、協働の対象を市民活動団体のみならず、事業者、学校も加え、多様な主体による協働事業を推進することとしたことで、令和6年度は、大学生が関わる5つの事業が採択された。</p> <p>(2)リモテラス公益施設及び長久手中央2号公園を一体的に指定管理を行うことより、ワンストップでの施設活用が可能となった。また、活動プレイヤーの下支えをメインの業務として位置づけることにより、以前よりも様々な活動が生まれたことや、特にプレイヤーの活動をコンスタントに情報発信サポートをすることで、施設での活動を広く発信できる環境が整備された。</p>
評価	評価・課題	<p>(進捗状況や課題など)</p> <p>(1)令和5年度末の要綱改正により大学として応募できることとしたことから、これまで市内の4大学に委託していた事業を統合することができた。</p> <p>(2)指定管理者が業務主旨をよく理解し、来訪者への声かけや活動プレイヤーのサポート(コーディネートなど)を充実させることによって、施設利用者からも雰囲気が変わり、施設の使いやすさに繋がっているとの声もいただいた。</p>
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	<p>(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など)</p> <p>(1)補助金を活用し市民と協働することで、行政の目線では気づけなかった地域課題を解決するきっかけとなっている。また、協働することにより、行政単独で実施するよりも事業規模を拡大することができる。</p> <p>(2)リモテラスに係る施設は、市民活動の活性化による賑わい及び交流拠点を目指しており、このビジョンを具現化するためには質の高い指定管理者が必要不可欠となる考え、令和6年度から令和10年度までの指定管理では、サウンディング調査から得た市場価値を基に積算しており、適切な競争の中から選定された指定管理者である。実績として、来場者数の増加、施設の活動プレイヤーや利用者からの好評もいただいております、費用に対する施策効果は高いと考える。</p>
今後	今後の方向性、改善点	<p>(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など)</p> <p>(1)令和7年度からは、企業版ふるさと納税を原資とした新たな補助金(みんなでつくるまち活動補助金)を創設し、市民活動を支援していく。</p> <p>(2)市外からの活動プレイヤーが多い現状を踏まえ、市在住の活動プレイヤーに向けたリモテラスの認知度を拡大していくために、市内の他のまちづくり施設に訪問して意見交換を行い、ネットワークを強化し、新たな活動プレイヤーを発掘する。能動的な活動プレイヤーを取り込むために毎月1回「リモテラスの日」を設けてプレイヤー間の繋がりがづくりの強化や活動発信をサポートする。</p>
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		